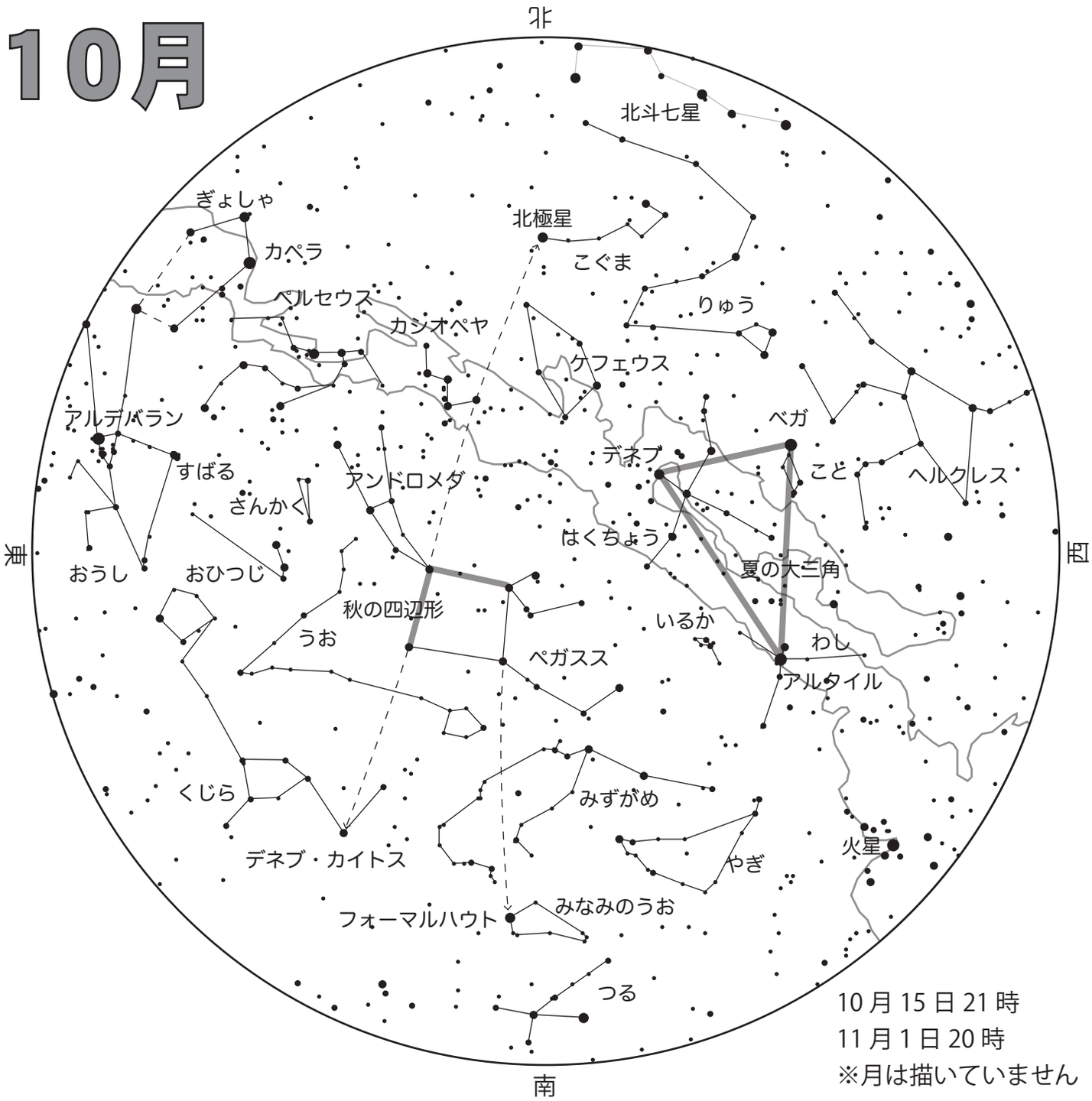
姫路の星空

10月

姫路科学館
Himeji City Science Museum



10 月 15 日 21 時
11 月 1 日 20 時
※月は描いていません

明るい惑星３つ

日没後間もなく、夕焼けの南西の空に見えるのは金星（宵の明星）です。南西側の開けた場所で日が暮れた方向より左側を探してみましょう。暗くなる頃には、南の空に火星が見えています。火星は１０月から１１月中旬にかけていて座を移動中で、その後、やぎ座に移ります。

星座の星（西の空に夏の星、東の空に秋の星）

西の空高く、夏の大三角が見えています。大三角を作るのは、こと座のベガ（織女星）、わし座のアルタイル（彦星）、はくちょう座のデネブです。

東の空に秋の四辺形が見えます。ペガスス座の胴体です。西側の線を南へ伸ばすとみなみのうお座のフォーマルハウト、東側の線を北に伸ばすとカシオペヤ座を経て北極星が見つかります。カシオペヤ座と北極星の間に見える五角形はケフェウス座です。東側の線を南に伸ばすとくじら座の尻尾の星デネブ・カイトスが見つかります。秋の四辺形からは、アンドロメダ座を経てペルセウス座が見つかります。ペガスス座の南側にはみずがめ座とうお座もならんでいます。月明かりのない夜、なるべく暗い場所で順番にたどってみましょう。